

いきいきとした町づくりをめざして

議会だより

# からうら



No.41

2007.10.31発行

- 災害復旧費可決 — ② 全議員が一般質問 — ⑤ ▶ ⑫  
視察研修報告 — ③ はばたけ  
委員会ハイライト — ④ ちびっ子アスリート — ⑭  
(勝浦タイガース)



人形フェスティバル in勝浦 開催中

# 5,593万円を可決

— 予算総額 30億5,993万円に —

## 補正の主なもの

- 土木災害復旧費 ..... 2,780万円  
(台風4号による10ヵ所)
- 農林災害復旧費 ..... 786万円  
(台風4号による4ヵ所)
- 教育費 ..... 927万円  
(生比奈小学校体育館補修費)
- 消防費 ..... 250万円  
(自主防災組織育成事業)



台風4号によるつめ跡

# 一般質問に全議員が登壇

九月定例会は十二日から二十一日まで開かれ、十九年度補正予算や、勝浦町長期継続契約に関する条例の制定、固定資産評価委員会委員の選任同意と人権擁護委員の推せん、また、議員提出の意見書について全員一致で可決しました。

### 議員提出議案

● 割賦販売法の抜本的改正に関する意見書

(悪質なクレジット契約の被害を防止)

● 道路整備の促進と道路財源の確保に関する意見書

提出先

衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣  
県選出国会議員ほか

全員一致で可決しました。

### 請願陳情

● 勝浦高校を本校として存続して欲しい旨の陳情書

◎ 文教厚生常任委員会に付託しました。



おおい町の「あつとほ〜む・いきいき館」

## あつとほ〜む 「いきいき館」

福井県最南端に位置する、おおい町名田庄地区「あつとほ〜む・いきいき館」は、だれもが気軽に立ち寄り、家庭的な雰囲気なかで、やすらぎ、安心、元気にぎわい、活気なかでリフレッシュ出来る施設と中村伸一所長は熱く語ってくれた。

特筆すべきは、厚生省の健康づくり事業で、「生活習慣病予防」を研究テーマにITを活用し、携帯電話で毎日の食事内容を画像で送り、管理栄養士がアドバイスするシステムである。

今後、糖尿病予防の参考にしたい。

## 視察研修報告 文教厚生常任委員会

10月3日から5日まで福井、富山、石川県の施設を視察しました。

### 自由・安心

## 「ほほ笑み」

高齢者専用賃貸住宅

富山県砺波市となみのこの施設は、「自分らしく生きる自由」と「もしもの時の安心」をテーマに、昔ながらの雰囲気大切にしたい憩いの場として「心にはほほ笑み」をモットーに運営している。

住宅は十戸で、家賃・食費等を含め月約十五万円で評判もよく待機者もいるとのことだが、低所得者の入居は難しいと感じた。



クラブレッツの理事長から説明を受ける

## 固定資産評価委員会委員

山本達夫氏(生名)

の選任に同意しました。

## 人権擁護委員

滝花恒子氏(棚野)

湯浅芳洋氏(沼江)

の推せんに同意しました。

## 「スポーツによる まちづくり」

NPO法人 クラブレッツ

石川県の中央部かほく市、「NPO法人クラブレッツ」は、国のスポーツ振興法に基づき、地域住民に対してスポーツ活動と文化活動の振興に関する事業等を行うために、平成十四年に設立された。

今では、会員千二百人、事業規模三千二百万円、十八年度から市の体育館業務の指定管理を受け、活動の拠点施設とし、「スポーツによるまちづくり」が地域に根付き始めている。

勝浦町でもスポーツクラブ設立を進めており、参考にしたい。

## 総務産建常任委員会

### 県道二車線化 に向けて

九月四日に委員会を開き、一般会計補正予算と勝浦町長期継続契約に関する条例などの説明があり審議しました。

また、県道二車線化や自主防災組織の全地区結成について報告がありました。

#### 産業建設課長から

台風四号による災害対策工事箇所や、県道の二車線化に向けての説明がありました。

**問** 沼江バイパスと柳原工区の進捗状況は。

**答** 産業建設課長 沼江バイパスは八月二十七日から三十日に境界立会を実施し、早く測量を終えたい。

柳原工区は一千万円の予算が付き、工事は五カ月くらいで終わる。

**委員から** 県道二車線化には全議員が団結して取り組むべきとの意見が出ました。

**参事から** 「勝浦町長期継続契約に関する条例」について説明がありました。

**問** この条例が出来れば費用が少なくなるのはどんなものか。

**答** 参事 コピー機などの事務機器である。

**委員会として** 九月定例会に提案することに同意しました。



防災訓練での炊き出し

## 文教厚生常任委員会

### 勝浦病院 機能評価を受審予定

九月五日に委員会を開き、一般会計、特別会計補正予算等を審議しました。

病院事務局長から、病院機能評価受審について説明がありました。

**問** 外来患者への影響と対応は。

**答** また、それに合わせて院内改修工事の実施計画は。

**問** 病院事務局長受審は、月・火曜日を要望している。院長、副院長、看護師長、事務局長が対応する。

**答** 改修工事は休日・夜間を基本として、プライバシー保護のため、診察室の間仕切りなどを予定している。

**委員会として** 九月定例会に提案することに同意しました。

### 勝浦病院 機能評価受審とは

質の高い医療を効率的に提供していくためには、病院自らの努力が重要だが、さらに効果的なものとするため、第三者機関による評価を導入すること。(費用は126万円、20年7月受審予定)

#### 事業実施による効果

- ・ 病院自らの位置づけを客観的に把握でき、改善すべき目標がより具体的、現実的なものとなる。
- ・ 患者本位の医療サービスの実践など、質の高い効率的な医療が提供される。
- ・ 職員の意識改革が行われるとともに、病院の信頼性を高めることが出来る。
- ・ 経営の効率化が図られ、健全な経営に結びついて行くことなど。



プライバシー保護のため改修工事を予定

## 南海地震

### 町の対応は

#### 耐震対策を進める(町長)

国清 一治議員



#### 問

「安心・安全なまちづくり」で今、住民が一番心配しているのは南海地震である。町の被害想定、初動体制、防災計画についての考えは。また、公共施設等の耐震対策の経過と防災施設等の整備は。

#### 答 町長

南海地震は震度五から六弱で、平野部での液化化現象や山間部では山腹崩壊も想定されている。

九月二日に「全町一斉の防災訓練」を実施し、約二千人が参加した。

災害本部の初動体制は震度五弱以上で全管理職。震度六弱以上で全職員の出動体制をとっている。今後、地域に合った防災計画をたてたい。

公共施設等の耐震対策は現在、小中学校施設を中心に進めているが、今後、防災関係施設等も調査し対応したい。

#### 星谷橋は安全か

調査し整備計画をたてる (町長)

#### 問

災害時、橋の危険性が心配されている。町内「最後の潜水橋」星谷橋は、過去に死亡事故など重大事故も発生している。隣接の星谷運動公園が、観光交流や、大災害時の防

南海地震は震度五から六弱で、平野部での液化化現象や山間部では山腹崩壊も想定されている。

九月二日に「全町一斉の防災訓練」を実施し、約二千人が参加した。

災害本部の初動体制は震度五弱以上で全管理職。震度六弱以上で全職員の出動体制をとっている。今後、地域に合った防災計画をたてたい。

公共施設等の耐震対策は現在、小中学校施設を中心に進めているが、今後、防災関係施設等も調査し対応したい。

#### 答 町長

星谷橋は老朽化も進んでおり、重大事故も発生している。また、過去に運動公園は防災ヘリの基地となる

また、洪水時の通行止作業の改善策は。



鉄筋がむき出しになっている橋脚

など災害、観光・交流面での通行量は多い。

現在、九トンの重量制限がかかっている。二十年度に、町内十五m以上の橋の耐震調査を実施するので併せて検討し、その結果をみて二十一年度に整備計画をたてたい。

また、洪水時の通行止作業の改善は今年度中に実施する。

#### ■その他の質問

- 産業振興のまちづくり
- 光流・情報のまちづくり



中田町長

## 貯蔵みかんの ブランド戦略

予算に反映したい(町長)

山野忠男議員



ブランド化対策、安定生産対策、高品質化対策、マーケティング対策の四つの重点施策を柱として、貯蔵みかん産地活性化事業に取り組んでいる。

### 答 町長

貯蔵みかん産地の維持発展のため、専門技術者については十分検討し予算に反映したい。

**問** 町の基幹産業であるみかんの価格が低迷している。今こそ生き残りをかけてブランド化を進める必要がある。栽培と貯蔵の専門技術者を入れて、長期貯蔵産地をめざしてはどうか。

### 答 産業建設課長

みかんの振興策としてブ



倉坪産業建設課長



貯蔵みかん産地活性化の講演

## 心を育てる 学校教育と社会 教育の対応策は

地域の教育力を結集

(教育長)

については道徳の時間で週一時間、年間三十五時間行っている。

社会教育では、子供のしつけが十分に出来ない保護者もあり、今後、教育的な問題を明確にし、地域の教育力を高めたい。

### 問

最近いじめや青少年の事件が多い。家庭にこもり、テレビゲームに熱中するなど自己中心的で問題がある。心豊かな人づくりのための教育は。

### 答 教育委員会事務局長

現在、心を育てる教育に



谷添教育委員会事務局長

### 答 教育長

小学校六年生では、「感謝の心」が大々的に取

り上げられている。今後は、規範意識、家庭、地域の教育力を結集して住みよい社会をめざしたい。

## 企業誘致と 町内企業支援策は

さらなる優遇策を  
検討(町長)

### 問

バブル期には、町内でも働く場所も多かったが、企業も「冬の時代」となり、若者は職場を求め都市部へ流出している。企業誘致の検討と、町内企業の雇用促進のため支援策も必要でないか。

### 答 産業建設課長

町内企業等とも意見交換しており、企業誘致を進めたい。

### 答 町長

立地企業に  
対し、さらなる優遇策を検討したい。

## その他の質問

- 老人医療について
- 過疎法について

## 保育所民営化推進

### 後退しているのでは

検討委員会の答申を見て(町長)

大西 一司 議員



で、その結果を見て対応を検討したい。

### 県補助金 強く働きかけを

**問** 第二次行政改革を進めるなかで、保育所の民営化を平成二十年を目途に推進していくと明言していたが、今回の答弁では推進意欲が感じられない。方針転換したのか。

**答 町長** 現在、検討委員会で保育所のあり方を協議中だ。来年三月には答申が出る予定

**問** 県は厳しい財政運営の中で補助金等を減額している。広域農道や農免道路、地籍調査、県単急傾斜事業等に影響が出ている。どれも必要な事業だ。県に強く働きかけを。

**答 副町長** 県との協賛を深め、財政力の弱いところに傾斜配分を求めると、補助金減少を食い止める努力をして行く。

### 県道改良 中角通学路の 改良急げ

二十一年に申請予定 (産業建設課長)

**問** 現在、県と協議中のことだが、地元の協力姿勢もあり関係者の要望は強い。早期の進展を。また、柳原工区の着工、完了予定は。

**答 産業建設課長** 県との協議の中、国の補助がある緊急地方道路整備事業として、二十年三月に申請できるように取り組んでいる。



危険がいっぱい 中角通学路

柳原工区は十一月着工、今年度完了予定だ。

### 防災対策 成果と反省点は

防災意識が高まった (参事)

**問** 全町一斉の防災訓練が行われたが、初めての一斉訓練で反省点や課題が多くあると思うが。



戸川 参事

### 答 参事

約二千名の参加者があり、町民の防災意識は高まったと思う。今後、各地区からの意見を精査し、ハザードマップや防災マニュアルを作成し、自主防災力の向上を図って行きたい。

### 一般会計 十八年度決算と 財政見通しは

**問** 十八年度の経常収支は三億六千万円余りの残となり、基金繰り入れもしていない。少しは好転しているのか。また、十六年度がピークの公債比率(二十三%)の見通しは。

**答 参事** 公債比率は平成二十三年度で約十一%に、地方債残高も十九年度四十億六千万円から二十三年度では約三十億円になる見通しだが、単年度収支が約六百万円の赤字で、まだまだ安心できない。

### その他の質問

○ 産業の振興について

## 後期高齢者医療制度

### 問題点と対応

#### 広域連合で協議(町長)

森本 守議員



合に対し、「払える保険料」にするため、県や市町村からの一般財源投入や、低所得者への減免条例制度を要望してはどうか。

#### 答 町長

現在、広域連合で条例等の協議を続けている。

減免制度については、特別な理由のあるものに対しては免除出来るのであるので、県内の国保や介護保険の減免制度を参考にしながら、広域連合の会議で発言して行きたい。

#### 問

後期高齢者医療制度は、七十五歳以上の人は全員がこの保険に入らなければならない。保険料は全国平均で六千二百円、介護保険と合わせると月一万円を超え、独居老人や老人のみの世帯では特に負担が大きい。

また、滞納すると保険証が取り上げられる。広域連



#### 正木ダム

### 決壊の恐れは

#### 問

外国ではダムが決壊した例もあり、日本では最も安全に力を入れているはずの原子力発電所に被害が出た。万が一正木ダムが決壊すれば、勝浦町も大災害の危機にさらされる恐れがある。

南海・東南海といった巨大地震にどのくらい耐えられるのか。

#### 答 産業建設課長

県内には長安口はじめ四つのダムがあるが、耐震設計がされているので南海地震等には問題はないとの県の回答である。

### 勝浦川流域整備促進協議会

#### について

#### 問

正木ダム建設に伴う県との確約、二十八項目達成のための協議が

最近この会が開かれていない。いつから、なぜ開かないのか。  
また、二十八項目の進捗よく状況は。



折野副町長

#### 答 副町長

県に問い合わせたところ、最後に開かれたのは平成七年で、理由ははっきりしない。

また、県との約束のうち、勝浦町に関する十項目が出来ていない。今後、郡の町村会とも協議して行きたい。



耐震設計がされている正木ダム

## 県道改良

### すべての町民の問題だ

現地調査を実施したい(町長)

井出美智子議員



**問** 重要な生活道路で、ある県道の改良はすべての町民の問題だ。今だに出来ていない箇所はどこに問題があるのか。過去にバイパスや橋の事業が完成に至った背景には、すべての関係者が一体となって協力して取り組んできた経過がある。沼江バイパスの状況はどうか。

また、県、県議、町議会関係者などによる現地調査を実施してはどうか。

**答** 町長

用地提供者や地元とのコンセンサスが十分でなかったことが要因であると考えられる。沼江バイパスについては地元の協力を得て、不転の決意で何としてもこの機会に完成させたい。

また、現地調査は非常に大事なことなので実施したい。



## 生活保護費を

### 振込に

必要であれば変更する

(福祉課長)



改良が進む新浜勝浦線(中山工区)

**問**

保護費は月一回役場で支給しているが、受け取りに来るのが困難な世帯がある。口座振込みに出来ないのか。

北九州で保護を辞退させられて餓死した事件があった。勝浦町で最近、辞退届けの事例はあるのか。また、申請用紙を窓口に

置くことは出来ないのか。

**答** 福祉課長

過去にも口座振込みの事例はあった。申請がなくても状況をみて必要と判断した場合は、口座振込みに変更する。

また、最近では辞退届けの事例はない。



岩佐福祉課長

**答** 副町長

生活保護の事務は、県市が行うものである。申請用紙を町村で窓口に置いてある事例は、県下ではない。

## リンパ浮腫療養費支給の周知を

**問**

リンパ浮腫とは、リンパ液の流れが悪くなるために腕や足がむくんでしまう難治性の疾患である。各地でリンパ浮腫の治療用装具、弾性スリーブやストッキングへの療養費支給が広がっているが、勝浦町ではどうなっているのか。

また、療養費は請求しなければ支払われない。広報等を利用してもっと周知するべきではないか。

**答** 参事

申請が一件出ている。医療機関を通じて周知は出来ている。

# 沼江バイパス

## 早期完成を

不転の決意で臨む(町長)

森 健 議員



### 答 産業建設課長

九月中に境界立会を終え、家屋や工作物調査を行う。その後用地交渉へと進み、来年が正念場となる。県と協力して関係者のご理解を得て、推進協議会と連絡を取りながら、早期完成をめざしたい。

### 問

沼江バイパス事業の推進の基本は地域、用地提供者の協力、事業主体の姿勢、予算等と思われるが、今後のスケジュールや推進体制は。

また、周辺対策や代替用地の要望への対応と、現道狭あい部の改良は。

### 答 町長

町の発展に欠かせない東の玄関口であり、地域にも多大の迷惑をかけている。国補事業に格上げされたので、地元とのコンセンサス



完成が待たれる沼江バイパス

## 町民の健康管理について

を持ちつつ先頭に立って、不転の決意で取り組む。

### 問

糖尿病患者の実態と対策及び児童・生徒の給食での食育の取り組みは。

### 答 福祉課長

糖尿病患者は十七年八月国保加入者のレセプトによると、二十歳

から六十歳の男性で十・六%、女性は九・六%である。対策としては、基本診査に検査項目を加え、必要に応じて受診をすすめている。また、糖尿病予防教室を開設したり、町広報に「保健だより」を掲載し啓発に努めている。



稲井教育長

### 答 教育長

健康体の管理維持は食、運動、精神的安定が必要であり、栄養教諭による給食指導、栄養指導を行っている。

## 町消防団 防災対策について

### 問

常時町内にいる団員数と、災害発生時の対応策及び機器や施設の点検は。

### 答 参事

定数二四〇人の内一三三人が町内勤務である。出動時にはポンプ車一台に五人、可搬小型ポンプ積載車では四人の最低必要人員が法定められていて、各分団でも申し合わせている。発生時には携帯電話に一斉メール配信を行っている。点検は各分団とも月二回の訓練日などで行っている。

## 基金の運用

### 改善すべきでは

慎重に検討していく  
(会計管理者)

節 公 一 議員



#### 答 会計管理者

現在、基金の一部を除き定期預金としているが、徐々に金利が上がっている背景から、県の公金管理指針を研究し、国債の運用などを慎重に検討したい。

#### 問

十九年度予算では、地方債残高約四十四億円に対する支払利息は約九千二百万円であるが、受取り利息はわずか十九万円しかない。約十五億円ある基金を短期国債など、もっと有利な運用に改善すべきではないか。



穩台会計管理者

## 通信運搬費の

### 削減を

#### 問

通信運搬費が庁内で内一千五百二十五万円計上されているが、封書ではなくハガキですむものがたくさんある。ファックスやメールも活用して節減を図るべきではないか。

#### 答 参事

ハガキへの変更、IP電話やメールの活用により経費節減のため、各課で目標を決め取り組んで行く。

## フレックスタイム制 導入は

#### 問

住民の利便性を図るため、フレックスタイム制の導入による「開庁時間の延長」の検討結果は。

#### 答 参事

現在のところ窓口業務、図書館などに住民サービスの低下はないと認識している。



大量の郵便物 経費節減の工夫を

## 行政評価システム

### 現状は

#### 問

地方分権が進み「自主」「自立」が求められる時代には「行政評価システム」の確立が重要になってくる。現在は具体的にどのような機能しているのか。また、今後の課題は。

#### 答 参事

現在までは担当者が自らの事業を評価する試行のみで、十分な機能は果たせていなかったが、今後、評価

## 行政改革 タイムリーな公表を

#### 問

「集中改革プラン」の内容には身近なものも多い。公表は広報だけでなく、ホームページでも随時見られるようにしたらどうか。

#### 答 参事

現在、ホームページでは検索しにくい状態なので、トップページに載せアクセスしやすくなるよう改善する。

制度を確立しながら政策評価につなげた。

#### 答 町長

事業に対して費用対効果の妥当性を客観的視点に立って評価し、事業の改善、見直しを行い、目的や有効性を町民にわかりやすく説明して行く。

増子化への取り組み

妊婦検診費の助成拡充を

他町村の動向などを調査し検討したい(町長)

松田貴志議員



問 妊娠から出産に至るまで定期的に検診を受けることが安全な出産につながる。妊婦検診費は約六千円で十五回程度の検診が必要になり、高額な負担により検診を控えることがあると聞く。こうした現状を改善するため検診費の助成拡充に取り組んではどうか。

答 町長 現在、無料券を二枚発行しているが、他町村の動向を調査し検討したい。

父子手帳を発行しては

問 育児の悩みやストレスを抱える母親のためにも、父親の積極的な育児参加による負担軽減が必要になってくる。父親としての心構えや、育児へのかかわり方などを記した父子手帳を母子手帳と共に配布してはどうか。

答 町長 昔に比べると父親の育児参加は増えているが、今後

必要かどうか検討したい。

ブックスタート事業を

問 子供との触れ合いや語りかけのなかで

かけがえのないものが生まれる。乳幼児期に絵本を読み聞かすことで子供の心と言葉をはぐくみ、親子の絆が深まる。徳島市など周辺自治体でも取り組んでいる絵本の無料配布を実施してはどうか。

答 福祉課長 「はぐくみくらぶ」や「わんぱく教室」で絵本の読み聞かせを行っているが、有効性も含めて検討したい。

答 町長 絵本の無料配布か図書館の絵本を充実させるべきか、



中田町長

他市町村の取り組みでの効果について調査し検討したい。

総合型地域スポーツクラブ施設や備品等の充実を

問 二年後の設立に向けて講座を開催したり、設立準備委員会などでの協議を重ねているが、クラブが自主運営して行くには会費収入が重要になる。それには会員数の確保が不可欠



体力アップの講座でカローリング

で、住民のニーズを把握し厳選したサービスを提供するため、種目に対応する施設の整備や備品等が必要になると思うが。

答 町長 糖尿病対策など町民の健康増進や、スポーツを通じたまちづくりに貢献できると期待している。施設の整備や備品の充実を図るのは必要と認識している。

その他の質問

- 若者の定住策について
- 人材育成について

## 正木ダム二十八項目 未実施の確認は

早急に再確認の場を  
持ちたい  
(町長)

西浜勝己議員



**問** 正木ダム建設当時の知事と郡町村会長との二十八項目の確約事項未実施について今までも質問してきた。その後、町長の具体的行動は。

**答 町長** 行政間の約であり、議会とも協議し再確認の場を持ちたいと考えている。

## 畑総、簡易水道等の 防災対策は

**問** 防災対策は、地域の特徴を生かしたマニユアルづくりが必要だが、畑総、簡易水道等の対策は。また、勝浦病院の取り組みは。

**答 産業建設課長** 畑総施設では、配管水路の耐震診断を実施している。今後、構造物と管路の接続部分に耐震離脱装置等を計画している。

簡易水道は、本年度状況把握に努め、各組合と協議し、防災対策の年次計画を立てる。

**答 病院事務局長** 災害救護活動の体制整備と後方病院等への搬送体制について、年二回訓練している。



前田病院事務局長

## 徳島東部地域 市町村長懇話会 成果は

初期の目的は  
果たされている  
(副町長)

**問** 懇話会の現在まで  
の取り組みはどうか。  
初期の目的ど  
おり進んでいるのか。

**答 副町長** 第一回が七月に開かれ、以後四回開催された。小さな議題もあるが、災害時相互応援体制協定の締結により、被災時に対する物資、労働力の応援が可能になった。初期の目的どおり進んでいる。

## その他の質問

- 行政改革と住民サービス  
の低下について
- 国政選挙への対応に  
ついて

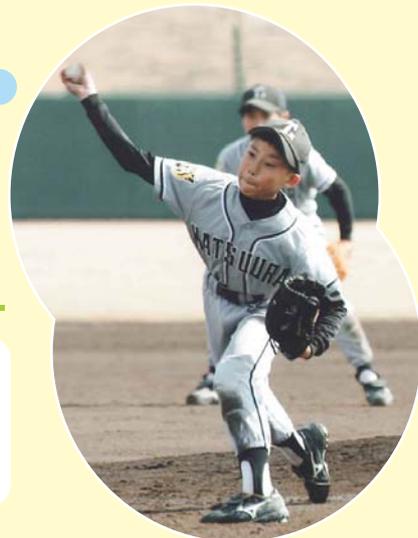


4回開催された懇話会

# はばだけ！ ちびっ子アスリート

## 少年野球チーム 勝浦タイガース

今回紹介するのは最も伝統ある横瀬小学校の少年野球チーム「勝浦タイガース」です。今までに多くの甲子園出場選手を出しており、最近では9月の郡大会で優勝するなど大活躍しています。チームを代表してキャプテンの藤本祐人君にインタビューしました。



エースの木原くん

- Q** 現在の部員数は？  
**A** 21名です。
- Q** キャプテンになって最初の思い出は？  
**A** 選手宣誓をしたことです。
- Q** 現チームのスローガンは？  
**A** 「全員野球・全カプレー」で1勝を目指してがんばります。
- Q** 楽しいと思うとき、苦しいと思うときは？  
**A** バッティング練習は楽しいですが、守備練習は長く感じてキツイです。
- Q** これからの目標は？  
**A** 県大会で優勝すること。



ナイスバッティングの岡本くん

### ～メンバー紹介～

6年	戸田真資	藤本友哉	2年	影平孟士
	木原直人	米澤吉郎		米澤俊郎
	大平 滯	影平昌耶		大石宇宙
	山平秀和	岡本脩吾	1年	井出智也
	井出彬人	信政郁弥		影平喬亮
5年	藤本祐人	中村星哉		鶴本祐太
4年	岩佐伴基	3年 宮本威弥		小関慎之助

### 練習日時

- ◎毎週 火・水・金・土  
 ◎横瀬小学校グラウンドで  
 17時から19時30分まで  
 ＊練習見学や体験入部は  
 随時受け付けています。
- 【連絡先】  
 藤本 ☎ 42-2365

## 編集後記

庭の草取りをしていたら、大きなムカデが出てきた。ムカデは「百足」と書くように、たくさん足を持っているが、ある時、どの足から先に出したら良いかを考えたら、全く歩けなくなってしまうとか。

議会には継続している問題や、新しい課題が数多くありますが、議論のための議論で本質を見失わないよう、また、手法にとらわれ過ぎて時機を逸しないよう、自然体で対処して行きたいと思っています。

(公一)

